

環 境 係

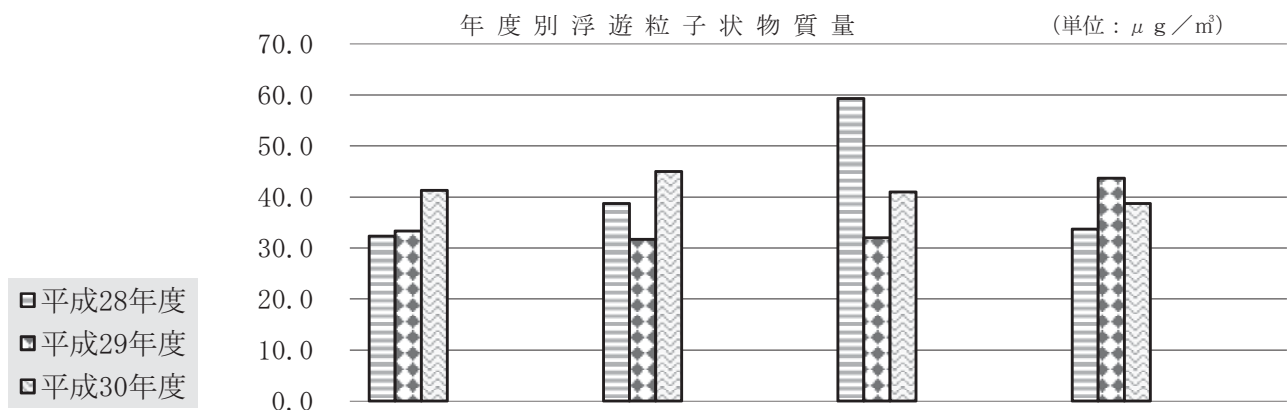
1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質質量及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：平成31年2月19日から同月21日まで

調査地点：市内4か所

ア 浮遊粒子状物質質量



区分	市役所	武蔵野台児童館	市民会館	第二小学校
平成28年度	32.3	38.7	59.3	33.7
平成29年度	33.3	31.7	32.0	43.7
平成30年度	41.3	45.0	41.0	38.7

イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

調査地点・年度 調査項目	市役所		武蔵野台児童館		市民会館		第二小学校	
	平成30年度	前年度	平成30年度	前年度	平成30年度	前年度	平成30年度	前年度
鉛	0.006	0.006	0.007	0.005	0.006	0.006	0.007	0.006
マンガン	0.025	0.020	0.026	0.017	0.021	0.017	0.022	0.027
バナジウム	0.003	0.003	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003	0.004
全クロム	0.007	0.005	0.008	0.003	0.006	0.003	0.006	0.004

※ 数値は、1日平均の3日間平均の量である。

※ 単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (μg (マイクログラム) は100万分の1g)

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：平成31年2月25日・2月27日

調査事業所数：2事業所（燃料使用量3000ℓ/日以上）

事業所	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(ℓ/日)	イオウ含有量(Wt%)		基準値(W t %)
			平成30年度	前年度	
A	特A	1,000	0.06	0.08	0.8
B	〃	—			
C	A	—			
D	〃	—			
E	〃	—			
F	〃	—			
G	〃	—			
H	特A	1,200	0.05未満	0.08	
I	A	—			
J	〃	—			
K	〃	—			

※ W t % : 質量パーセント、検出下限値0.05

※ 重油施設の廃止等に伴い、2事業所に変更

(3) 二酸化窒素 (NO₂)

調査日：平成31年2月26日

調査地点：市内12地点

No	調査地点(交差点)	測定値(ppm)		環境基準値
		平成30年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.017	0.016	0.06
2	武蔵野橋南	0.023	0.022	
3	熊川内出	0.017	0.011	
4	第五ゲート前	0.021	0.018	
5	福生志茂南	0.013	0.011	
6	多摩橋北	0.014	0.012	
7	福生駅西	0.016	0.012	
8	福生加美	0.015	0.012	
9	福生加美平	0.014	0.013	
10	福生市役所前	0.016	0.012	
11	武蔵野台北	0.013	0.011	
12	第二ゲート前	0.030	0.024	

※ 数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

地域 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
区 東部	0	0	0	0	2	0	0	2
区 北部	0	0	0	0	2	0	0	2
区 西部	0	0	0	1	3	0	0	4
区 南部	0	0	0	1	2	0	0	3
多摩北部	0	0	0	2	4	0	0	6
多摩中部	0	0	0	1	3	0	0	4
多摩西部	0	0	0	1	1	0	0	2
多摩南部	0	0	0	1	1	0	0	2
合計	0	0	0	7	18	0	0	25

※ 多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

2 水質調査

(1) 河川及び下水道（雨水管）

pH(水素イオン濃度) …酸性・アルカリ性の度合いの指標

BOD(生物化学的酸素要求量) …微生物に分解されやすい有機物量の目安

SS(浮遊物質量) …1 μm以下のフィルターに残存する成分の量

ア 多摩川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	平成30年度	8.2	9.2	8.0	9.1	8.7	8.4	6.5~8.5
	平成29年度	7.5	8.4	7.9	8.7	7.6	8.6	
	平成28年度	8.8	8.0	8.0	8.5	7.1	7.4	
BOD	平成30年度	1.2	1.7	0.8	0.2	ND	0.9	2 mg/ℓ
	平成29年度	1.1	0.9	0.7	0.6	0.5	1.3	
	平成28年度	0.8	0.4	ND	0.5	ND	ND	
SS	平成30年度	1.0	3.0	0.5	0.5	ND	0.5	25mg/ℓ
	平成29年度	2.5	1.5	0.5	ND	2.5	ND	
	平成28年度	2.5	1.5	2.5	0.5	1.0	0.5	

イ 下の川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	平成30年度	7.2	8.3	7.7	7.5	7.5	7.8	6.5~8.5
	平成29年度	6.9	7.8	7.3	7.1	7.5	7.9	
	平成28年度	8.2	7.8	7.7	8.2	6.8	7.6	
BOD	平成30年度	0.7	1.1	0.7	ND	ND	0.7	2 mg/ℓ
	平成29年度	0.8	0.7	0.6	1.0	0.4	1.4	
	平成28年度	0.4	0.2	ND	0.7	ND	0.5	
SS	平成30年度	1.6	ND	1.6	0.3	ND	1.3	25mg/ℓ
	平成29年度	0.6	0.3	0.3	2.6	0.3	2.0	
	平成28年度	3.6	ND	0.3	0.3	0.6	0.3	

ウ 都市下水路（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	平成30年度	8.1	8.6	8.0	8.4	8.5	7.8	5.8~8.6
	平成29年度	7.9	8.2	7.6	7.9	7.6	7.9	
	平成28年度	8.5	7.8	7.7	8.5	7.2	7.2	
BOD	平成30年度	0.8	1.2	0.6	ND	0.5	0.6	160mg/ℓ
	平成29年度	1.2	0.8	0.8	0.5	ND	0.8	
	平成28年度	0.6	0.7	ND	0.5	ND	3.8	
SS	平成30年度	ND	ND	ND	1.0	2.0	ND	200mg/ℓ
	平成29年度	4.0	5.0	ND	ND	5.0	ND	
	平成28年度	3.0	ND	ND	ND	1.0	1.0	

エ 本町幹線（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	平成30年度	8.7	8.2	8.2	8.1	8.7	8.1	5.8~8.6
	平成29年度	7.2	8.2	7.8	8.1	7.7	7.8	
	平成28年度	8.9	7.7	7.9	8.4	7.1	7.6	
BOD	平成30年度	2.1	1.9	0.9	0.6	1.5	1.2	160mg/ℓ
	平成29年度	1.0	1.1	0.8	1.7	4.0	3.4	
	平成28年度	2.4	ND	ND	0.6	ND	0.6	
SS	平成30年度	3.0	1.0	ND	2.0	6.0	2.0	200mg/ℓ
	平成29年度	5.0	1.0	8.0	6.0	10.0	12.0	
	平成28年度	6.0	11.0	2.0	1.0	ND	ND	

※ 都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ ND：定量下限値未満

※ 平成27年度より、定量下限値未満についてはNDに表記を統一

(2) 多摩川合同採水

採 水 年 度		平成30年度		平成29年度	
採 水 月 日		6. 14 (木)	11. 1 (木)	6. 8 (木)	11. 2 (木)
採 水 時 間		午前11時30分		午前11時30分	
流量	m ³ /sec	2.9	2.7	1.9	24
気温	℃	23.5	19.0	23.0	20.8
水温	℃	25.0	15.8	21.2	16.5
外観		無色透明	無色透明	無色透明	淡白色
臭気		無臭	無臭	無臭	無臭
透視度	cm	>100.0	>100.0	>100.0	24
pH (水素イオン濃度)		8.3	9.4	8.1	7.5
DO (溶存酸素)	mg/ℓ	10.8	12.7	10.1	10.4
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/ℓ	1.8	<0.5	1.5	0.7
COD (化学的酸素要求量)	mg/ℓ	2.5	1.5	1.9	1.6
SS (浮遊物質量)	mg/ℓ	2	2	3	10
T-CN (シアン化合物)	mg/ℓ	不検出	不検出	不検出	不検出
Pb (鉛)	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
NH ₄ -N (アンモニア性窒素)	mg/ℓ	0.05	0.01	0.01	<0.01
T-N (全窒素)	mg/ℓ	1.1	0.90	0.48	0.93
PO ₄ -P (リン酸性リン)	mg/ℓ	<0.003	<0.003	0.005	0.013
T-P (全リン)	mg/ℓ	0.014	0.015	0.008	0.021
MBAS (陰イオン界面活性剤)	mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジクロロメタン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
四塩化炭素	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
トリクロロエチレン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 3-ジクロロプロペン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
ベンゼン	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/ℓ	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
セレン	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
大腸菌群数	MPN/100mℓ	1100	110	140	220
カドミウム	mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.001	<0.001
六価クロム	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ヒ素	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
総水銀	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/ℓ	不検出	不検出	不検出	不検出
PCB	mg/ℓ	不検出	不検出	不検出	不検出
1, 4-ジオキサン	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	0.78	0.54	0.32	0.78
全亜鉛	mg/ℓ	0.004	<0.001	0.002	0.009
ノニルフェノール	mg/ℓ	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/ℓ	<0.0006	<0.0006	0.0031	<0.0006
環 境 基 準		水域類型A		水域類型A	

(3) 地下水

測定日：平成30年8月29日

測定地点		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	基準値
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	3.7	3.4	1.7	6.2	4.2	4.8	4.1	4.6	9.0	4.5	10以下
塩化物イオン	mg/ℓ	3.8	5.0	2.7	14	6.3	6.8	4.4	3.9	8.1	9.9	200以下
有機物 (TOCの量)	mg/ℓ	<0.3	<0.3	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	<0.3	0.4	0.4	3以下
一般細菌	個/mℓ	0	8	2	9	80	150	5	1	2	2	100以下
大腸菌群数		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと。
鉄	mg/ℓ	0.07	<0.02	<0.02	0.15	0.06	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.3以下
マンガン	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.019	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下
pH (水素イオン濃度)		6.4	6.4	6.6	6.9	6.6	6.5	6.4	6.3	6.3	6.6	5.8～8.6
臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと。
味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと。
色度		<1	<1	<1	2	1	<1	<1	<1	2	<1	5度以下
濁度		<1	<1	<1	2	<1	<1	<1	<1	<1	<1	2度以下
トリクロロエチレン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ 平成19年度より過マンガン酸カリウム消費量を有機物と表記する。

※ 地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 工場排水

測定日：平成30年9月18日

単位：mg/ℓ (pHと水温を除く。)

測定地点 検査項目	A工場		基準値
	平成30年度	前年度	
pH (水素イオン濃度)	6.9	6.0	5.8～8.6
pH測定時水温	23.4℃	21.9℃	40℃以下
BOD (生物学的酸素要求量)	3.9	1.7	160
COD (化学的酸素要求量)	11.0	6.5	160
SS (浮遊物質)	70	19	200
カドミウム及びその化合物	<0.003	<0.003	0.03
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	0.1
水銀、アルキル水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	0.005
銅含有量	<0.05	<0.05	3
亜鉛含有量	0.13	0.11	2
溶解性鉄含有量	0.35	0.13	10

(5) 雨水管 (横田基地流入分)

測定日: 平成31年3月7日

項目	単位	多摩橋通り		五日市街道		武蔵野幹線		排水基準
		6月	3月	6月	3月	6月	3月	
pH (水素イオン濃度)		/	7.1	/	6.6	/	7.0	5.8-8.6
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/ℓ	/	2.2	/	2.9	/	2.0	160mg/L
SS (浮遊物質)	mg/ℓ	/	6	/	30	/	10	200mg/L
ノルマルヘキサン抽出物	mg/ℓ	/	1	/	2	/	<1	30mg/L
フェノール類	mg/ℓ	/	<0.005	/	<0.005	/	<0.005	5mg/L
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	/	0.6	/	0.8	/	0.8	※
六価クロム	mg/ℓ	/	<0.01	/	<0.01	/	<0.01	0.5mg/L
鉛及びその化合物	mg/ℓ	/	<0.005	/	<0.005	/	<0.005	0.1mg/L
カドミウム及びその化合物	mg/ℓ	/	<0.001	/	<0.001	/	<0.001	0.03mg/L
総水銀化合物	mg/ℓ	/	<0.0005	/	<0.0005	/	<0.0005	0.005mg/L
アンモニア性窒素	mg/ℓ	/	0.04	/	0.07	/	0.03	100mg/L
リン酸性リン	mg/ℓ	/	<0.003	/	0.020	/	0.004	※
陰イオン界面活性剤	mg/ℓ	/	0.04	/	0.03	/	0.02	※
有機リン化合物	mg/ℓ	/	<0.1	/	<0.1	/	<0.1	1mg/L
有機体炭素	mg/ℓ	/	2.3	/	3.3	/	2.1	※
セレン及びその化合物	mg/ℓ	/	<0.001	/	<0.001	/	<0.001	0.1mg/L
ヒ素及びその化合物	mg/ℓ	/	<0.001	/	<0.001	/	<0.001	0.1mg/L
全リン	mg/ℓ	/	0.030	/	0.042	/	0.036	16mg/L
シアン化合物	mg/ℓ	/	不検出	/	不検出	/	不検出	1mg/L

※排水基準の設定なし

※年2回の調査予定(6月、3月)であったが、6月の採水は天候の関係上分析を行うのに十分な量が得られなかったため、欠測とした。

3 騒音調査

(1) 自動車交通量・騒音・振動調査

ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	陸橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	平成30年 11月13日12時 ～14日12時	平成30年 11月13日12時 ～14日12時	平成30年 11月13日12時 ～14日12時	平成30年 11月13日12時 ～14日12時	平成30年 11月13日12時 ～14日12時
昼間 上り	20,514	9,792	6,726	3,624	6,906
昼間 下り	18,096	9,972	7,116	3,516	4,452
夜間 上り	3,756	924	858	306	1,068
夜間 下り	3,318	1,230	816	300	1,032
合計	45,684	21,918	15,516	7,746	13,458
前年度合計	—	—	—	—	—

※ 都心方面を上り、逆を下りとする。

イ 騒音

(単位：デシベル＝dB)

道路通称	国道16号線	陸橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	平成30年 11月12日～16日 のうち3日間	平成30年 11月12日～16日 のうち3日間	平成30年 11月12日～16日 のうち3日間	平成30年 11月12日～16日 のうち3日間	平成30年 11月12日～16日 のうち3日間	
騒音 (LEQ)	昼間	74	68	68	67	66
	前年度	—	—	—	—	—
	夜間	75	66	66	62	66
	前年度	—	—	—	—	—
環境 基準 値	昼間	70				
	夜間	65				
要請 限度	昼間	75				
	夜間	70				

※ LEQ＝等価騒音レベル

ウ 振 動

(単位：デシベル＝d B)

道 路 通 称		国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測 定 場 所		横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先
用 途 地 域		近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車 線 数		4	4	2	2	2
測 定 日		平成30年 11月12日～16日 のうち3日間	平成30年 11月12日～16日 のうち3日間	平成30年 11月12日～16日 のうち3日間	平成30年 11月12日～16日 のうち3日間	平成30年 11月12日～16日 のうち3日間
振 動 (L10)	昼 間	44	30	28	25	49
	前 年 度	—	—	—	—	—
	夜 間	44	26	26	25	47
	前 年 度	—	—	—	—	—
要 請 限 度	昼 間	70	65	70	65	70
	夜 間	65	60	65	60	65

※平成29年度は、測定を行ったが適正な測定結果が得られなかったため、欠測とする。

(2) 自動車騒音面的評価

市内でセンサス区間（自動車の運行に伴う騒音の影響が概ね一定とみなせる区間）に指定されている幹線道路20か所（1か所は毎年）の自動車騒音調査を5か年以内に全て行い評価する。（平成24年度から実施）

環境基準値	昼間	70	※幹線交通を担う道路に近接する空間に関する基準値
	夜間	65	

番号	道路名 (調査場所)	センサス 番号	基準点騒音 レベル(dB)		残留騒音レ ベル(dB)		達成率(%)		達成戸数(戸)		全戸数 (戸)
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
1	国道16号 (福生市熊川1148-3)	15140-1	74	74	43	38	75.4	50.6	447	300	593
2	国道16号 (福生市福生2034-3)	15150-1	75	74	48	39	67	46.9	140	98	209
3	杉並あきる野線 (福生市熊川307)	40510-1	67	64	43	36	100	99.7	390	389	390
4	立川青梅線 (福生市牛浜25)	41560-1	67	60	37	32	99.8	99.8	585	585	586
5	瑞穂あきる野八王子線 (福生市本町1)	61250-1	59	51	43	38	100	100	278	278	278
6	国道16号 (福生市熊川456-1)	10080	55	52	42	35	99.1	98.6	216	215	218
7	立川青梅線 (福生市志茂208)	41370	69	65	40	33	99.9	99.2	750	745	751
8	立川青梅線 (福生市熊川139)	41420	66	61	42	29	100	100	216	216	216
9	瑞穂あきる野八王子線 (福生市志茂229)	61190	65	61	41	31	100	99.7	383	382	383
10	杉並あきる野線 (福生市北田園1丁目12)	40380-1	66.1	61.1	40	28	99.3	96	691	668	696
		40380-2	64	59	40	28	100	99.6	237	236	237
11	立川青梅線 (福生市熊川204)	41350	69	64	39	32	99.6	99.6	227	227	228
12	立川青梅線 (福生市福生549-1)	41470	65	61	41	28	98.6	98	145	144	147
13	福生青梅線 (福生市武蔵野台1丁目16)	62650	64	60	40	31	100	100	787	787	787
14	立川青梅線 (福生市熊川711-3)	41360	68.5	64.5	38	36	99.5	99.5	364	364	366
15	立川青梅線 (福生市加美平3-39)	41380-1	64.6	60.6	42	36	100	100	250	250	250
		41380-2	66	62	42	36	99.6	99.6	272	272	273
16	伊奈福生線 (福生市福生656-1)	61120-1	65	61	38	34	100	98.9	189	187	189
		61120-2	66.9	62.9	38	34	100	100	76	76	76
		61120-3	65	61	38	34	99.8	99.5	648	646	649
17	杉並あきる野線 (福生市熊川1633)	41370-1	70.4	67.4	43	35	99.4	98.8	337	335	339
18	立川青梅線 (福生市福生1211)	41450-1	67.5	61.5	35	26	99	99	101	101	102
		41450-2	69	63	35	26	98.6	98.6	210	210	213
19	瑞穂あきる野八王子線 (福生市福生1027-14)	61170-1	59.7	52.7	39	37	100	100	85	85	85
		61170-2	57.3	50.3	39	37	98.8	96.3	161	157	163
20	昭島停車場熊川線 (福生市熊川1566-4)	62240-1	69.5	65.5	46	41	-	-	0	0	0

※網掛けは、測定日時①にて測定

※番号1は優先的対策道路区間として毎年評価を行う。

※平成29年度に実施した測定については、適正な測定結果が得られなかったため、欠測とする。

測定日時① 平成30年6月28日(木)正午から6月29日(金)正午まで

測定日時② 平成28年7月7日(木)正午から7月8日(金)正午まで(番号17から番号20まで)

測定日時③ 平成27年11月5日(木)正午から11月6日(金)正午まで(番号14から番号16まで)

測定日時④ 平成26年7月2日(水)正午から7月3日(木)正午まで(番号10から番号13まで)

測定日時⑤ 平成25年6月4日(火)正午から6月5日(水)正午まで(番号6から番号9まで)

(3) 航空機騒音調査

ア 測定場所 大字熊川1571番地先 誘導灯付近

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	最高音圧レベル (d B)	時間帯補正等 価騒音レベル (d B)
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	956	762	178	16	113	62
5	1,046	840	198	8	112	63
6	649	538	83	28	116	65
7	1,121	852	262	7	121	68
8	1,212	885	318	9	106	61
9	837	636	197	4	120	66
10	914	750	148	16	113	63
11	1,099	793	293	13	116	67
12	592	519	69	4	118	65
31年1	1,318	926	382	10	101	63
2	1,223	961	226	36	120	68
3	1,346	1,112	213	21	121	66
合計	12,313	9,574	2,567	172		
前年度合計	10,250	8,334	1,692	224		
月平均	1,026	798	214	14	117	65

※ d B : デシベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	最高音圧レベル (d B)	時間帯補正等 価騒音レベル (d B)
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	93	68	23	2	97	46
5	81	63	18	0	92	43
6	45	33	12	0	84	38
7	128	86	42	0	87	44
8	145	90	55	0	90	44
9	129	68	61	0	87	44
10	106	81	24	1	85	42
11	196	121	75	0	90	47
12	66	57	9	0	88	42
31年1	269	169	100	0	88	47
2	170	106	62	2	90	49
3	202	146	55	1	89	47
合計	1,630	1,088	536	6		
前年度合計	1,485	1,034	437	14		
月平均	136	91	45	1	90	44

※ d B : デシベル

(4) 環境騒音調査 市内29地点 (46か所)

測定日：平成31年3月13日(水)から同月26日(火)まで【昼間】

測定地点			騒音の大きさ (dB)			支配音
No	用途地域	道路との関係	等価騒音レベル(LEQ)		環境基準	
			平成30年度	前年度		
1	準工業	一般地域	53	53	60	一般音
2	準工業	一般地域	49	48	60	〃
3	第1種住居	沿道	65	66	70	自動車音
	第1種低層	後背地	48	46	55	〃
4	近隣商業	沿道	68	69	70	〃
	近隣商業	後背地	54	54	60	〃
5	第1種低層	一般地域	45	46	55	自然音
6	第1種住居	沿道	68	68	70	自動車音
	第1種低層	後背地	52	51	55	〃
7	近隣商業	沿道	74	76	70	〃
	第1種低層	後背地	54	55	55	〃
8	第2種低層	沿道	62	62	60	〃
	第1種低層	後背地	57	58	55	〃
9	第1種中高層	沿道	64	64	65	〃
	第1種低層	後背地	42	41	55	〃
10	第1種低層	後背地	47	46	55	一般音
	第1種中高層	沿道	59	59	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	63	64	70	〃
	第1種低層	後背地	53	52	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	50	47	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	55	55	60	〃
14	近隣商業	一般地域	47	44	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	53	55	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	74	77	70	〃
	第1種低層	後背地	53	54	55	一般音
17	第1種低層	一般地域	53	52	55	〃
18	近隣商業	沿道	67	68	70	自動車音
	近隣商業	後背地	55	56	60	〃
19	第1種低層	一般地域	54	55	55	〃
20	第2種中高層	沿道	65	66	70	〃
	第1種中高層	後背地	52	51	55	一般音
21	商業	一般地域	63	62	65	自動車音
22A	商業	一般地域	63	57	65	〃
22B	商業	沿道	65	66	70	〃
	第2種低層	後背地	52	55	55	〃
23	第1種中高層	沿道	67	67	60	〃
	第1種低層	後背地	51	52	55	〃
24	準工業	一般地域	47	46	65	一般音
25	近隣商業	沿道	64	64	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	47	47	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	46	45	60	〃
27	工業	沿道	67	66	70	自動車音
	工業	後背地	49	49	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	44	44	60	〃
29	第1種住居	沿道	65	65	70	自動車音
	第1種住居	後背地	49	51	55	〃

※ 後背地の環境基準は、一般地域のものが適用される。

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	31年1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	5	3
アスベスト相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 質 汚 濁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土 壌 汚 染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音・振 動	0	3	2	2	2	6	2	0	0	1	2	1	21	16
低 周 波 音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
航空機騒音	9	6	10	14	13	10	10	15	2	14	5	11	119	123
地 盤 沈 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	1	6	4
雑 草	0	2	2	3	4	1	3	2	0	0	1	0	18	21
そ の 他	7	3	6	6	5	2	3	9	3	1	1	0	46	39
合 計	16	14	22	29	25	19	19	26	5	16	11	13	215	206

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	平成 30年度	前年度	区 分	平成 30年度	前年度
工 場 設 置 認 可	0	0	指 定 作 業 場 設 置 届	2	2
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	0
工 場 変 更 認 可	1	1	指 定 作 業 場 氏 名 変 更・承 継 届	0	1
工 場 変 更 認 定	1	1	指 定 作 業 場 廃 止 届	0	0
工 場 氏 名 変 更・承 継 届	3	3	特 定 施 設 設 置 届	3	2
工 場 廃 止 届	0	1	特 定 施 設 変 更 届	0	0
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更・承 継 届	2	1
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	15	15	特 定 建 設 作 業 実 施 届	6	25
建築物の解体に係るアスベスト対策に関する届出	0	13			

(3) 立入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	平成 30年度	前年度	区 分	平成 30年度	前年度
工 場 認 可 関 係	1	1	苦 情 処 理	200	160
指 定 作 業 場 届 出 関 係	0	0	各 種 測 定	168	172
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	0	5			

5 環境行政・環境学習の推進

(1) 福生環境市民会議等

ア 福生地域ネコの会

平成 30 年度総会・定例会議・地域猫登録団体連絡会議 12 回開催

熊川げんき広場バザー出店・ふっさ桜まつりバザー出店 8 回出店

イ かんきょう通信編集会議

環境情報プロジェクト『かんきょう通信』の発行

第 44 号 3 回開催

第 45 号 3 回開催

ウ ふっさ花とみどりの会

定例会議 6 回開催

花いっぱい運動（春・秋） やなぎ通り・国道 16 号 2 か所 2 回

多摩川中央公園フラワーゾーン花壇管理（除草・植栽・採種等） 9 回

やなぎ通り・国道 16 号・フラワーゾーン花壇管理（散水） 3 回

ふっさ環境フェスティバル 1 回

視察研修（山梨方面） 1 回

花いっぱいコンテスト審査会（春・秋） 2 回

花いっぱいコンテスト（春・秋）表彰式 2 回

エ ふっさ環境市民会議

定例会議 4 回開催

「産業廃棄物の再資源化・自然との共生を学ぶツアー」 1 回開催

福生打ち水日和 1 回開催

自然環境を学び楽しむ集い（和光市） 1 回開催

環境と共生のまちづくりセミナー「私たちの環境活動のあり方、進め方を学ぶ」 1 回開催

地球温暖化防止キャンペーン 1 回開催

地球温暖化防止セミナー「持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みと私たちの暮らし」 1 回開催

(2) 福生市環境審議会

平成 30 年 7 月 19 日 ・福生市環境基本計画実行計画進捗状況（平成 29 年度）について

・福生市環境基本計画実行計画（平成 30 年度）について

(3) ふっさ環境フェスティバル

環境問題に対する認識を深め意識の醸成を図ることを目的に、市民参加型のイベントを開催した。

日時 平成 30 年 6 月 3 日（日）午前 10 時～午後 3 時

場所 多摩川中央公園 げんき広場

内容 学童クラブけん玉ショー、福生高校ダンスパフォーマンス、東京農工大学エコレンジャーショー、わくわくほうせい化学実験ショー、ECO マジックショー、環境に関する展示、リユース食器使用によるフードブース出展、スタンプラリー、ダンボール迷路ほか
出展団体（参加団体） 48 団体（一般、事業者、学校、官公庁）

来場者 4,990 人

(4) 市民環境大学 全6回

市内に存在する豊かな水、緑をテーマに自然観察を行うことで将来的に市民と自然がどのようにかかわっていくのかを考えた。

第1回	4/28	春の自然	福生にはどんな自然がある？	(6人)
第2回	6/30	夏の自然①	川の中にはどんな生き物がいる？	(8人)
第3回	8/26	夏の自然②	街中にある自然の楽しみ方	(6人)
第4回	10/8	秋の自然	川原の自然、そこにすむ希少種、外来種	(8人)
第5回	12/24	冬の自然①	落葉を踏んで歩く雑木林の楽しみ方	(5人)
第6回	2/3	冬の自然②	鳥を見れば自然がわかる？野鳥観察入門	(10人)
				合計 43人

(5) 福生水辺の楽校 “多摩川で遊ぼう” 全12回

第1回	4/8	ヨモギ団子を作って食べよう	(30人、26人、5人)
第2回	5/13	多摩川バードウォッチング	(20人、7人、5人)
第3回	6/3	マスのつかみ取り	(150人、0人、25人)
第4回	7/8	多摩川の魚をつかまえよう	(47人、31人、5人)
第5回	7/15	多摩川の河口干潟へ行こう	(16人、15人、2人)
第6回	8/12	竹工作と流しそうめん	(22人、19人、10人)
第7回	9/9	陸域の生き物観察	(19人、16人、6人)
第8回	10/14	バッタをゲット	(雨天中止)
第9回	11/11	ネイチャークラフト	(15人、11人、5人)
第10回	12/9	多摩川バードウォッチング	(11人、7人、11人)
第11回	1/13	川原のごみ拾い&餅つき大会	(14人、11人、5人)
第12回	2/11	手作り凧あげ	(18人、17人、6人)

計 362人、160人、85人

※ () 内の参加人数は子ども、保護者、スタッフの順で表示 合計 607人

※ 8/12は増水、低温のため、内容を「いかだで冒険、多摩川で泳ごう」から「竹工作と流しそうめん」に変更し実施

※ 9/9は増水のため、内容を「多摩川の魚をつかまえよう」から「陸域の生き物観察」に変更し実施

(6) 福生水辺の楽校 “多摩川サポーターズ” 全4回

第1回	5/13	かくれんぼ広場水辺の秘密基地づくり	(16人、7人、4人)
第2回	6/10	多摩川の生き物&水質しらべ	(3人、2人、4人)
第3回	8/12	いかだを作ろう	(増水、低温のため中止)
第4回	11/11	水辺の散策路ごみ拾い	(18人、11人、6人)

計 37人、20人、14人

※ () 内の参加人数は子ども、保護者、スタッフの順で表示 合計 71人

(7) 小中学校における多摩川の総合学習支援

市内の小学校が多摩川を題材とした総合的な学習の時間において行う体験活動に対し、資器材、教材の提供及び専門的な講師を派遣した。小学校7校からの依頼により、計29回の学習支援を行った。

内容 野鳥の観察、水生生物の観察、プールのヤゴ採集観察、植物昆虫の観察、野鳥の巣箱外しなど

参加人数 延べ1,634人

派遣講師 延べ60人

(8) 川の志民館利用者数

利用者数一覧

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
110	100	81	281	123	35	33
11月	12月	31年1月	2月	3月	合計	前年度
104	39	90	48	42	1,086	1,113

※開館日数：121.5日（土・日曜及び小・中学校夏休み期間）

※9月30日（日）は台風のため半日のみ開館

※イベント（福生水辺の楽校）利用者も含む。

(9) 環境学習教員研修

第1回	7/26	「フィールドで学ぶ」 水質調査、生物調査、川の安全学習	(15人)
第2回	7/27	「福生の自然の変遷」	(16人)
			合計 31人

(10) 環境学習講座 「影響が広がる環境問題と私たちの暮らしを考えよう」

～食材の調達・安全のために今何ができるか？～

市民を対象に、環境意識の醸成を図ることを目的とする全2回の環境学習講座を実施した。

第1回 9/30 影響が懸念される環境問題について (10人)

第2回 10/14 私たちの暮らしと対応を考える (9人)

合計 19人

(11) 地域猫去勢・不妊手術費助成事業

オス	メス	計
78匹	40匹	118匹

6 地球温暖化対策

(1) サイクルシェアリング

実証実験を踏まえ、ガソリン使用自動車からの乗換えによる地球温暖化対策、市内の回遊性の向上等を目的に、平成 26 年度からサイクルシェアリング事業として実施し、サイクルシェアリングのステーションの名称を「たっけー☆☆サイクルポート」に改めた。また、さらなる利便性の向上を図るため、福祉センター駐車場内にステーションの増設を行い、平成 27 年度から市内 5 か所のステーションで運用を開始している。

《実績》

会員数		平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	
		814 名	743 名	651 名	
収 入	シェアリング利用	192,500 円	232,250 円	237,300 円	
	一時利用	114,800 円	121,650 円	86,900 円	
	合計	307,300 円	353,900 円	324,200 円	
シ ェ ア リ ン グ 利 用 回 数	くるみる ふっさ	貸出	859 回	897 回	773 回
		返却	725 回	814 回	749 回
	福生駅西口	貸出	343 回	390 回	291 回
		返却	357 回	387 回	280 回
	牛浜駅東口	貸出	634 回	597 回	509 回
		返却	670 回	636 回	526 回
	拝島駅北口	貸出	540 回	730 回	784 回
		返却	521 回	625 回	680 回
	福祉センター	貸出	796 回	857 回	725 回
		返却	899 回	1,009 回	847 回
	合 計		3,172 回	3,471 回	3,082 回
	一時利用回数		192 回	211 回	144 回

(2) 電気自動車用急速充電器利用状況

電気自動車用急速充電器を 24 時間一般開放し、地球温暖化対策として電気自動車の普及を目的として運用を図った。

《実績》

※利用料金 1 回 500 円 (最大 30 分)

	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
利用回数	23 回	66 回	45 回
利用料金 (合計)	11,500 円	33,000 円	22,500 円

(3) 福生スクラム・マイナス 50%協議会

平成 31 年 1 月 22 日 ・平成 30 年度事業について (中間報告)
 ・平成 31 年度事業計画 (案) 及び予算 (案) について

(4) 普及啓発等事業の実施について

- ア ふっさライトダウンキャンペーン 2018 (2 回)
- イ みどりのカーテン大作戦 (参加 14 件)

7 環境マネジメントシステムの運用

平成 20 年度から福生市環境マネジメントシステムとして『環境自治体スタンダード (LAS-E)』を運用。平成 26 年度から LAS-E の仕組みを土台として独自の環境マネジメントシステムを構築し、名称を福生市環境マネジメントシステム (Fussa environmental management system: 略称 F-e) として運用を開始し、地球温暖化対策の推進を図った。

(1) 本監査

日 程	監 査 対 象	内 容
平成 31 年 1 月 30 日、31 日、2 月 1 日 (環境マネージャーの部署は 1 月 11 日に実施した模擬監査を本監査として対応)	59 実行部門のうち抽出 18 実行部門、推進組織及び事務局	業務における環境面で特に重視している事柄や環境行動推進徹底のための取組について確認

(2) 推進組織会議等

区 分	開催回数	主 な 議 事 内 容
環境推進委員会	3 回	29 年度実績の検証と 30 年度方針、目標設定、30 年度取組状況の報告、監査等について
目標設定チーム会議	1 回	29 年度独自目標の監査と 30 年度目標の審議について
環境マネージャー会議	2 回	29 年度実績の検証と 30 年度目標に向けた具体的取組手法の検討、30 年度取組状況の報告、監査等について
監査チーム会議	3 回	監査の実施方法の確認、模擬監査、監査結果の振り返り

(3) 研修活動の実施

研 修 名	日 程	対 象	内 容
新人研修会	平成 30 年 4 月 3 日 (1 回)	平成 30 年度新規採用職員	環境マネジメントシステム全般及び具体的取組について説明
職員研修会	平成 30 年 7 月 25 日、7 月 26 日の 2 日 (全 8 回)	職員、嘱託職員、小・中学校教職員、指定管理施設職員	29 年度取組の振り返りと監査結果について確認 30 年度目標、具体的な取組についてハンドブックを用いて説明
監査直前説明会	平成 31 年 1 月 17 日 (1 回)	全職員 (希望者)	監査の視点や方法、受け方を解説

8 外来生物防除事業

特定外来生物であるアライグマ及び外来生物であるハクビシンの市内での生息状況及び被害状況の把握並びにアライグマ、ハクビシンの捕獲防除による自然生態系の保全、農産物被害、感染症被害等を未然に防止することを目的として、市、事業者、市民等関係者の協働により、捕獲、防除等を実施した。平成 30 年度より、定点での捕獲の他に個別対応の捕獲を行っている。

種 名	目撃情報 (件)	捕獲防除実績 (頭)
アライグマ	3	23
ハクビシン	21	19
合 計	24	42

9 緑化推進事業（花いっぱい運動）

（1）草花の苗配布（町会・自治会・学校・公共施設等）

苗の種類	配布数（株）
サルビア・ペチュニア	17,300
マリーゴールド	17,500
パンジー・ビオラ	31,579
葉ボタン	6,627
合計	73,006

（2）プランター等植栽事業

植栽地	内 容
やなぎ通りプランター	(春) ニチニチソウ 880 株
	(秋) ビオラ 592 株
	(秋) ノースポール 288 株
国道 16 号線ハナミズキ植樹ます	(春) ニチニチソウ 624 株
	(秋) ビオラ 420 株
	(秋) ノースポール 204 株

10 緑化保存事業

（1）保存樹林地

種 別	件数（件）	筆数（筆）	面積（㎡）
宅地介在山林	4	6	2,300.00
一般山林	2	3	669.00
合計	6	9	2,969.00

（2）保存樹木

件 数	本 数
37 件	169 本

（3）保存生垣

件 数	箇所数	延 長
135 件	142 か所	2,767m